

ICT 教材・機器 活用事例

学部	小学部	学年等	1年	教科	算数
授業名(単元名)	iPad タイム				
活用した場面	一斉学習	個別学習	協働学習		

1. 使用した ICT 教材・機器および使用した理由・方法

①iPad、大型テレビ

タブレット端末を用いて YouTube から「数字の歌」の動画をテレビに映し、全員で鑑賞する。

②1人1台 iPad

算数アプリ(“かずあそび” “かぞえ10” “ならべ10” “あわせ10”)にとりくむ。

2. ICT 教材・機器を活用した活動場面

活動内容	指導上の留意点	準備物
<p>○「数字の歌(すうじのそうぞう)を見よう」</p> <p>・数字の歌に合わせて、指数字で表す。画面に隠れている数字を見つけて答える。</p>	<p>・児童が興味を持って見ることができるよう大型テレビに iPad で動画を映す。</p> <p>・集中が途切れてしまう児童の学習意欲を高めるため、iPad をタップして動画をスタートするよう声かけをする。</p>	①iPad+大型テレビ
<p>○iPad タイム</p> <p>・算数アプリに取り組む。</p> <p>使用アプリ:「かずあそび」 「かぞえ10」「ならべ10」 「あわせ10」</p>	<p>・学習の最後に「iPad タイム」を設定することで、学習の流れを意識するとともに、学習への意欲を継続させる工夫をした。</p> <p>・児童が算数アプリを選んで学習に取り組むことができるよう、必要に応じて補助の教員が支援する。また、使用するアプリを選ぶ手立てとして、必要に応じてアプリのアイコンを印刷した補助カードを用いて児童に伝える。</p>	②1人1台 iPad 補助カード タイマー

3. 活用の成果

- ・「数字の歌」では、動画を活用することで、歌とアニメーションで数字を学習することができた。どの児童も興味と期待感を持って大型テレビを見ていた。また、集中が途切れてしまう児童がタップをして動画をスタートさせてもらうことで、学習意欲を継続して持つことができ、動画が始まると着席して鑑賞し、数を数えることができた。
- ・「iPad タイム」では、学習に不安を抱える児童や、集中が途切れやすい児童も学習の最後の1人1台 iPad を用いた時間に見通し・期待感を持って参加することができる姿がみられるようになってきた。児童自身も1人1台 iPad を操作し、興味関心のあるアプリを使用することで達成感を持って学習に取り組んでいる。

また、隣の児童が集中して取り組む姿を見て同じようがんばって操作したり、友だちが取り組んでいるアプリに興味を惹かれて同じ課題に取り組んでみたりする姿も見られた。国語のアプリや他のアプリを開くこともあるため、算数で使用するアプリを印刷した補助カードを手元に置くことで、同じ「かずあそび」をスムーズに選択することもできていた児童もいた。

教員も「がんばってiPadしよう!」「iPadするために座ってかっこよくしよう!」と声かけをして励ますことで、児童の学習参加を支援することができた。